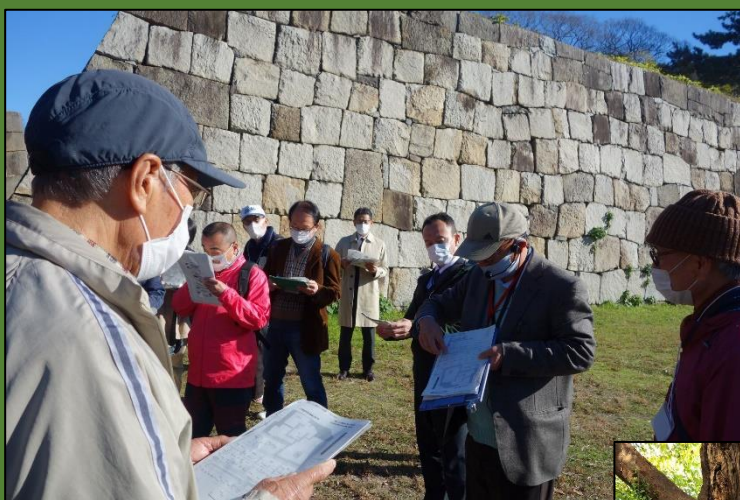


学芸員とめぐる戦争のつめ痕～名古屋城界限編～を開催しました。

開催日：令和2年12月3日（木）、4日（金）

愛知・名古屋 戦争に関する資料館アドバイザーの伊藤厚史学芸員の案内で、この地域に残る戦争のつめ痕を巡るウォーキングツアー。3度目の開催となる今回は、両日とも天候に恵まれ、資料館から名古屋城までの道のりを、名古屋城に駐屯した歩兵第六聯隊の遺構や、名古屋城の中に今もひっそりと残る、空襲によって被災した樹木や石垣などを巡りながら歩きました。

【ツアーの様子】



伊藤学芸員の案内で名古屋城周辺を巡ります。



↑空襲で被災した天守閣の礎石や石垣



空襲で被災したムクノキ



乃木倉庫



「歩兵第六聯隊」・「忠霊」碑



中はどうなっているのかな？



【今回のコース】



- 愛知・名古屋
戦争に関する資料館
- ▼
- ①日本政府境界柱 1
- ▼
- ②「忠霊」碑
- ▼
- ③防空庁舎建設時の廃土
- ▼
- ④日本政府境界柱 2
- ▼
- ⑤陸軍営内神社跡
- ▼
- ⑥第三師団の煉瓦塀
- ▼
- ⑦「勅諭下賜〇〇」碑
- ▼
- ⑧戦災にあったカヤ・ムクノキ
- ▼
- ⑨乃木倉庫
- ▼
- ⑩天守閣の礎石や石垣
- ▼
- ⑪「忠霊」碑のあった
栄螺山と手水鉢

アンケートにお答えいただいた参加者全員から「名古屋城周辺に残る戦争のつめ痕に対する理解が深まった」「今後もまたやってほしい」というお声をいただき、開催者一同、うれしく思います。

愛知・名古屋 戦争に関する資料館では、年間を通して、この地域の戦争のことが学べる展示を行っています。皆様のご来館をお待ち申し上げております。

たくさんのご応募とご参加ありがとうございました！



愛知・名古屋 戦争に関する資料館では、
「ガイドマップ 愛知・名古屋 戦争のつめあとと散歩」を作成し、館内にて配布しています。当館ホームページからもダウンロードできますので、ぜひご利用ください。
ダウンロードは[こちら](#)から